

BMW0030 E36 M/C 前

エアバック装着車用 取り付け説明書

装着前に必ずお読み下さい。

1. 運転席エアバック（以下：SRS）を取り外すと助手席、サイドSRSの衝突時作動は推測出来ません。
2. SRS装着車には任意保険加入時に割引料金が自動的に適用されております。ステアリング交換時には必ず保険会社に連絡して下さい。
3. 純正ステアリングに各種リモコンが装備されている車種は、その機能が使用出来なくなります。本体側で操作して下さい。
4. 稀に車両の電気的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。
5. ハンドルを取り外す順序を誤ると、スパイラルケーブルを破損する可能性があります。
また、純正部品の取り外しに関しては自動車メーカーの整備解説書に従っていただくのが普通ですので本書はあくまでも参考としてください。
6. 本製品は純正ステアリングから、社外のスポーツハンドルに交換するためのアダプターです。

装着手順

1. 作業開始準備

装着前にタイヤとステアリングホイールを直進状態にして下さい。

2. バッテリーターミナル取り外し

バッテリーの+端子を外して10分ほど、放置して下さい。

（作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。）

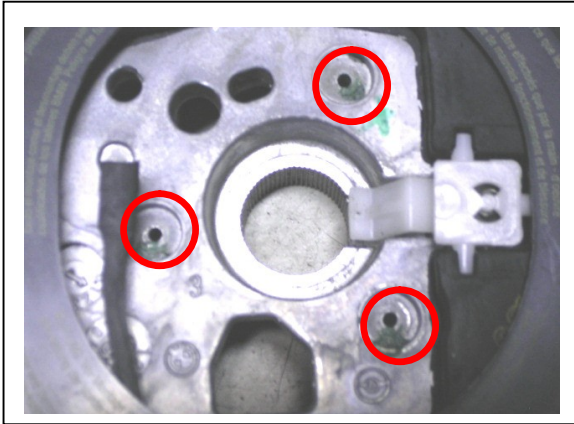
3. SRSユニットの取り外し



トルクスレンチ（T30）を使用して、純正ステアリングの裏側からSRS本体を止めているボルト2本を取り外して下さい。SRS本体に接続されている、カプラーを取り外します。カプラーはフタがロックになっているので、細いマイナスドライバー等で持ち上げて解除します。

！ 取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。（テスター等も含む）

4. スパイラルケーブルのナット取り外し



ステアリングにスパイラルケーブルがナット3個で固定されているので、ナットを外します。

5. ステアリングの取り外し

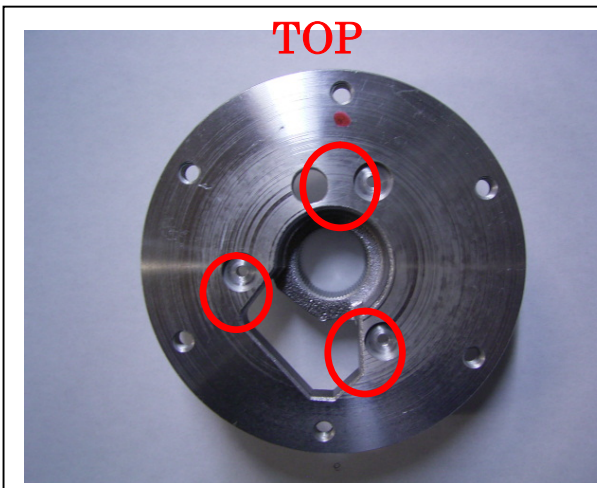
センターボルトを取り外し、ステアリングを外して下さい。スパイラルケーブルが車両側に残ります。

注 必ずステアリングとスパイラルケーブルを分離させてから、ステアリングを車体から外して下さい。スパイラルケーブルを破損します！！
また、スパイラルケーブルは絶対に回転させないで下さい。

6. 2ピース構造のボス分離

六角レンチ5mmを使用してボスの上側（アッパー）と下側（本体）を外して下さい。（六角レンチはお客様でご用意ください。）

7. ボスの下側（本体）の取り付け



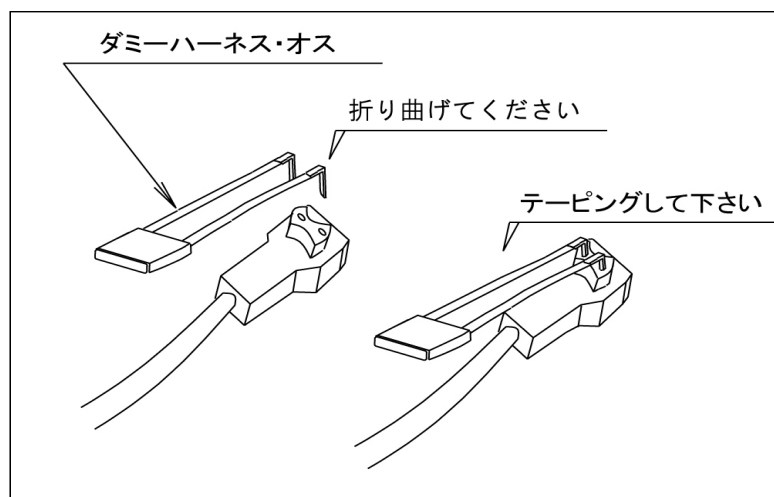
TOP マークを上にし、配線類を下側の穴から通し、スパイラルケーブルのネジ部3箇所をロー側の穴に合わせて、ステアリングシャフトに挿入します。

センターボルトを仮止めし、スパイラルケーブル接続ナットを取り付けます。

8. SRS警告灯対策

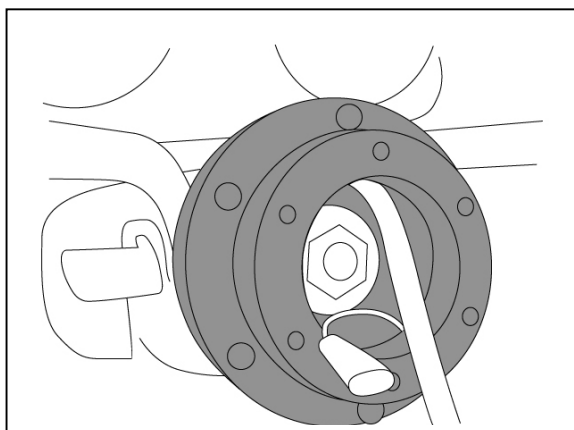
付属のヒューズ付きダミーハーネスを車両側のエアバックカプラーに接続してください。極性はありませんので接続する位置はどちらでも構いません。端子の先を軽く曲げると接触不良が防げます。接続後はテーピングで抜けを防止してください。

注：SRS警告灯の消灯を100%保証しているわけではありません。車両の電気的な特性の個体差で、消灯できないもしくは時間が経ってから点灯してしまう場合が稀にあります。ご了承ください。



※端子の折り曲げは1回しか行わないでください。
数回折り曲げを繰り返しますと折れる事があります。

9. ボスの上側（アッパー）取り付け



TOPマークを上にして、6で外したボルトでしっかり下側（本体）に取り付けてください。ホーン用配線等はボスの中へ引き込んでください。

10. ボスカバーの取り付け

ボスにカバーを挿入して下さい。カバーが車体に干渉する場合は怪我に注意してカッターナイフ等で切って合わせて下さい。

11. アースリングの使用（2極のホーンボタンの場合）

2極のホーンボタンの場合は、付属の変換コードを使用してください。ハンドル取り付け後に、平ギボシメス小をアースリングに、反対側をホーンのアースに接続してください。

アースリングはステアリングボスとハンドルの間に挟んで使用します。

1極タイプのホーンボタンには、アースリングと変換コードは使用しません。

1 2. ステアリングの取り付け

ステアリングホイールを**ホーンリング**及び**アースリング**を挟んでボスに取り付けてください。モモサイズのホーンボタン（φ50）はホーンリングを使用し、ナルディサイズのホーンボタン（φ55）はホーンリングを使用しません。ここでもステアリングのセンターが出ていることを確認してください。ずれている場合はスプラインの山で調整してください。1山以下のズレはボスでは修正できませんのでタイロッドで調整してください。

センターの位置が決まりましたらセンターボルトをトルクレンチを使用してトルク（30N・m）で締め付けして下さい。

注：安全の為、センターボルトは定期的に確認して下さい。

1 3. ホーンボタンの取り付け

ホーン用配線を付属の変換コードを使用して、ホーンキャップの端子に差し込んで下さい。

2極タイプのホーンボタンには付属の変換コードを使用して、アースリングとホーンボタンを接続してください。

1 4. 作業終了

バッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをしてエンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して下さい。

（ホーン/ウインカー/直進状態等に異常があった場合はバッテリー端子を外してから修正作業をして下さい）

1 5. 取り外したSRSモジュールは純正ステアリングに取り付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。（保管方法はディーラーにご相談下さい）

トラブルシューティング

Q：SRSモニターランプが点灯する（消灯しない）

A：作業中に**イグニッションキー**を入れた、**ジャンパー線**を装着していない、**ジャンパー線の接続不良**、

対策：**ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピューターで消灯して下さい。**

（ジャンパー線が接続されていなかったり、接続不良だと消えません）

Q：ステアリングのTOPが出ない

A：**シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。**

対策：**ディーラー又は整備工場**で調整して下さい。

Q：ステアリングを切ると異音がする

A：**ボス内のSRSコネクタ**が干渉している

対策：**動いているカプラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい。**

株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email : support@worksbell.co.jp

URL : <http://www.worksbell.co.jp>